

東日本電信電話株式会社茨城支店との 「デジタル社会における最適な住民サービスの在り方に関する協働実験協定」 の締結について

NTT東日本 茨城支店と笠間市は、デジタル・トランスフォーメーション（以下DX）により、市職員が行う業務の効率化を図るとともに、住民サービスの向上に向けた取り組みを行うため、「デジタル社会における最適な住民サービスの在り方に関する協働実験協定」を締結しました。

<締結者>

笠間市長 山口伸樹（やまぐちしんじゅ）

NTT東日本 茨城支店長 長野公秀（ながのきみひで）

1. 背景と目的

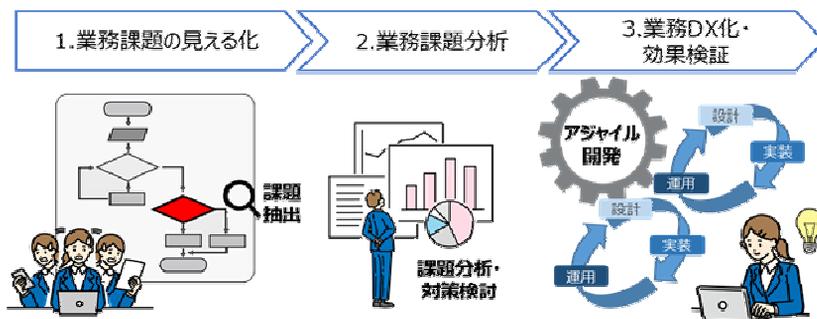
少子高齢化が進み、全国の自治体では多様な課題が増加していますが、一方でその課題に対処する行政サービスの担い手（職員）が不足しています。

本市においても、多様な課題を解決するには、行政運営における業務効率化・業務改善が急務となっています。

この状況を受け、NTT東日本と笠間市は、DXによる業務改善に取り組み、職員の業務稼働の効率化と地域住民の利便性、行政サービスの向上を目指し、協働実験を実施します。

2. 協働実験の概要

笠間市子ども福祉課における保育・児童支援等に関する各種業務について課題抽出を行い、業務のDX化を行います。業務に従事する職員および市民の声を反映しながら、アジャイル型でツールを構築・改良していくことで、業務見直し及びDXツールの両輪による業務改善を目指します。



3. 実施期間

5月15日から

4. 今後の展開

NTT東日本と笠間市は、本協働実験による蓄積データやすでに保有しているデータを組み合わせることにより、DXの深化や分析の高度化を行うことで、データからの付加価値を提供し、データ利活用による行政サービスの向上や地域課題の解決を目指します。

この件に関するお問い合わせ

笠間市役所 政策企画部 デジタル戦略課 担当:細谷・鈴木

電話番号 : 0296-77-1101 (内線217) e-mail : johog@city.kasama.lg.jp